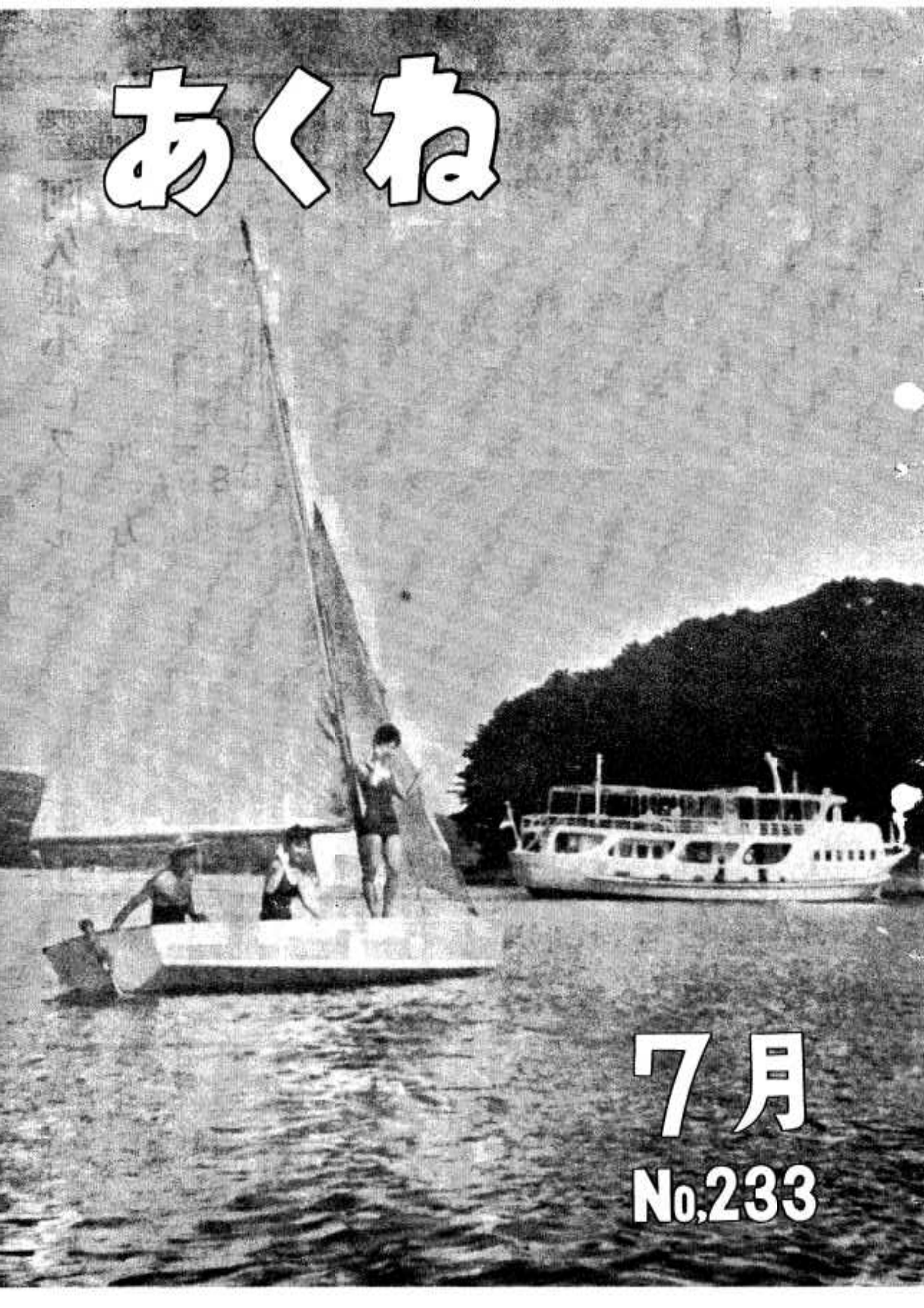


あくね



7月
No.233

第2回定例市議会

阿久根小にプールを

補正 予算 三千一四一万円も

昭和四十一年阿久根市議会第二回定例会は、六月二十二・二十三の両日開かれ、報告一件、認定二件、補正予算など議案十八件を審議し、それぞれ原案どおり可決しました。

報告一件は、繰越明許費の報告で、認定二件は市道の溝之口仏石線、黒之浜村中線の路線変更でした。また、黒之浜港内の公有水面を埋立てたことよってできた土地(一三八平方メートル)を、当市の区域に入れ字破戸上に編入することにしました。

山下字坂元にある市有林の立木を処分することもきまりました。

すき二五五立方メートルひのき二、二五五立方メートル、まっし一三立方メートル、広葉樹一七〇立方メートルの材積です。市営住宅相互の使用料の均衡をはかるため少々変更し、一部住宅においては使用料を安くすることにしました。

所得の少ないかたがたの国民健康保険税を安くするため、市税条例も一部を変更しました。消防団員等公務災害補償

農林水産業費二三八万円 農業関係では、桑い縮病

三密農協にもこれをつくって、大いに利用してもらうことにしました。林業費では、松くい虫の防除入夫代と薬代。水産業関係では、並型漁獲設置事業などをします。●商工業 商工業費は三月の定例会ではほとんど組んであるので、今度は阿久根農校に対する海紅豆(植物名)の育苗進札金を追加しただけです。●土木費 二八六万円 佐馬崎山線補装工事不足分、橋りょう維持費では、

大川の今越橋・大蓋の滝の鼻橋・黒の浜の月見橋の三つを補修します。また、寺山団地市営住宅の工事費不足分も予算化しました。●消防費 五五万円 消防団員退職報償金、緊急災害時の連絡用の消防無線用発電機設置工事費、寺山団地に消火栓もつくりま

●教育費 五二八万円 小学校関係では、本之年礼小の給食運搬費、本之年礼小の給水ポンプ工事費。大川町の床張かえ材料代、鷗川内小の給食配膳台、山下小の土地改良区特別賦課金など。また、教職員研修旅費不足分、児童修学旅行随行旅費、阿久根小ピアノ修繕料、阿久根小プール建設費、臨本小学校舎改築費不足分など

●災害復旧費 六七万円 仁床林道災害復旧費 八二万円、と畜場特別会計に二七万円の補正予算も可決しました。



補正予算など審議中の議会

表紙

キャンプ村

はじまる

七月一日から、大島のキャンプ村がはじまりました。

わくわくと湧き出た入道雲、その上に広がる真青な空、白いヨットが島の縁りと紺碧の海にひとときわ映えています。

もう県内外のキャンプ客でにぎわっています。 今年は、タイ・クロダイ・ハマチなどの釣り堀りもできました。交通が発達し、道路がよくなったので、時間的に距離がぐんと縮まりました。

今年も、北九州・福岡・熊本など県外、市外のキャンプ客が多いことでしょう。 こんなキャンプ客もわたくしども阿久根市にとっては、たいせつな観光客です。

みなさん、このお客さんをおもてなさい。ついでに、阿久根の一日、大島での一夜が、このかたがたの楽しい思い出となるよう、みなさんで小さな親切を心がけましょう。

市民会館の利用大

第一・四半期の市政報告



つぎに、大島の松が松くい虫の被害を受け、公園としての美観も失なわれつつあるので、この徹底的防除をはかるために、さる五月二十八日地上防除とあわせて、航空防除を実施いたしました。

難航のすえ認可

まず、市民会館の利用状況ですが、四月一日から五月末日まで二カ月間の利用数は一三九件で、有料六六件、無料七三件、そのほか結婚式披露宴など一五件となっております。

また、会館の施設設備等も着々と充実されつつあります。とくに、募金実績は一千四九万四千円にのぼりなお後四十万円ぐらゐの寄付見込みがあるようです。

このように会館整備のために、献身的なご努力を賜りました募金委員のかたがたや、たくさんのお金持の寄付を寄付くださいました市外や市内のみならずまたのご好意に対しては、心から感謝申しあげ厚くお礼申し上げます。

市道補修も順調

土木関係では、市道補修を計画どおり進め、内田陣之取線はか六カ所の補修を完了しました。

また、四月二十六日の豪雨による単独土木災害復旧事業は、弓本野横が倉庫ほ

か十カ所を、六月十五日に完成いたしました。

そのほか公営住宅建設事業は、寺山団地に二十四戸建設の予定で、すでに入札を終わりました。

なお、失効事業については、今期、堀本折口地区の補修を重点的に実施してまいりました。

また、道路の舗装、局部改良、測溝工事三四カ所を実施中であり、すでに牛之浜宮田線ほか六カ所は完了いたしました。

農構改善事業を推進

農業構造改善事業については、さる六月一日計画地域として指定を受け、現在実施段階へのいろいろな準備を進めております。

六月十三日から十五日まで、県指導班十一人による現地調査も終わり、総合指導も受け、実施予定地に対する啓発指導や推進委員などの設立を急がせつつあります。

そのほか耕地事業では、田島農道がさる五月六日着工、すでに五割の出来高であります。

牧内用水路は五月九日着工、六月二日完成、日当瀬用水路は五月三十日完成と農業基盤整備事業も着々と確立されつつあります。

商工関係では、大丸町の旧電報電話局敷地の払い下

げについて交渉中であります。シーメンも近まりましたので、夏の観光客の受け入れ体制も急がしております。

水道事業については、上水道計測設備工事と橋梁架設、配水施設工事を四月末日完成し、水道本管破裂による復旧工事も全部完成いたしました。

自治省と意見交換

さる四月一日から九日まで上京いたしました。これは即時全国市長会出席のためでした。

また、五月には、富山市で行なわれた全国都市研究会に出席しました。

これは、地方財政を確立するため、いろいろな問題で研究討論し、自治省と意見交換を行ないつつ、地方自治体の実状を中央に理解してもらうための研究会でした。

最後に、皮革工場のごとでございませう。いままで製品の中から粗悪品として返品されるものも多かったので技術の練磨を重ね、現在ようやく均質な製品ができる見込みがついたので、これから量産ができるような準備を進めています。

また、かねて懸念中の半額増資の問題は、松東商店において、現在準備中のようでございます。写真：市政報告中の市長

ヒューマニテイの最低線

アメリカのある地方新聞に、つぎのような三行広告が出たことがある。「すぐ乗れる最新型自動車キャデラック、五〇ドルにてゆする。〇〇」

五〇ドルといえば円になおして一万八千円、まるで自転車の値段である。広告を出したのはバカか気違いであろう。

むろん買手はなかった。また同じ広告が出た。今度は売り値が百ドルに改まっている。

それからさらに一週間たったころ、三度び同じ広告が出た。今度は百五〇ドルと売り値が改まった。

それきり、その広告はおしまいになったが、果してキャデラックは一五〇ドルで売れたのだろうか？

これにはむろんわけがある。三行広告を出したのはミス・〇というその町でも金持ちの末亡人であった。

夫は最近亡くなり、その遺言の執行が三行広告となったわけであるが、

季節の話題

遺言には五〇ドルや一五〇ドルで売ってくれとは書いてない。

「キャデラックを売った金を女秘書にやれ」とあるのだ。

女秘書は二号も兼ねていたとみえて、末亡人はひどくこの女を嫌い、金など一文もやりたくなかったが、遺言の手前、最低値で売ってそれを渡そうとした。

初め五〇ドルと広告して買手のつかぬまま値上げして、一五〇ドルのとき、好奇心からたずねて来た町の大学生に売ってやったのである。

遺言者は、まさか一五〇ドルしか女秘書に渡らないなどとは思っていなかったかもしれない。

しかし末亡人は、遺言を実行した点においては少しも違法ではない。

世の中には、この末亡人の立場のように、いやだがどうしてもしなければならぬ義務があるものだ。

せめてそういう場合はこの末亡人のような機知で、ヒューマニテイの最低線だけは守りたいものである。(人生日記から)



水魔から守ろう

夏に多い子どもの事故

子どもたちにとってもっとも楽しい季節になりました。また夏休みもすぐそこまできています。

しかし、毎年この季節には水難事故が多く、昨年度下では、六、七、八の三カ月間に六一人の水難事故者があり、阿久根警察署管内

危険か所を調査
夏休み前になると、学校やPTA、部落会などで、水難事故防止対策の話し合いがあると思います。そのときには、まず子どもの遊び場として危い所はないかを、よく調べてください。昨年まで安全な水泳場であったところも、

つゆも終わり、本格的な夏を迎えます。二十日は土用の入りで、この日から盛夏にはいることとなります。■七月の衣生活
日光が強いので、先たくものはすぐかわきます。かわいたらすぐ取りこみましよう。一日中はしておくと変色してしまいます。
夏のかげふとんに合成繊維

が出回っています。打ち直しの必要がなく、軽くて丸洗いもできます。ただ湿気を吸わないので敷きふとんにはむきません。
■七月の食生活
むし暑い日には、さっぱりした食事をとりがちです。お茶づけ、ひやむぎ、おそばだけでは栄養が片寄ります。暑くて

くらしの

からだの抵抗力のおちるときこそ、栄養のことをじゅう分考えた食事を召しあがってください。
夏は日が長いので、夕食がおそくなりがちです。寝る時間がおそく、朝早いという生活は、胃腸を悪くすることがあります。主婦はとくに過労になりますからじゅう分注意してください

安くて栄養価の高い大豆を食べましょう。大豆にはたんぱく質や脂肪をたくさん含んでいます。
そのまま食べると消化が悪いので、煮たり（消化率六三%）、きなこ（同九三%）、とうふ（同九六%）で食べてください。
■七月の住いと健康
つゆのあと始末はすみましたか。長雨でいたんだ家

の内外をよく点検し、そろそろ近づく台風シーズンにそなえましよう。たいしたことはないと考えていた被害となる場合があります。汗びっしょりで帰宅したとき、家庭でかんたんにシャワーができたらとお考えの方がいいでしょう。
いま、ホースの先きにつけるようになっていたシャ

ワーヘッドがお店に出ています。百二、三十円からありますが、けっこう使えます。
浴室のない家なら、子どもの水遊びをかねて、のき先きなどにぶらさげておけば、大いへん便利です。食中毒と赤痢が出がちです。それにかからぬためには、まず抵抗力のある強いからだをつくりましよう。

でも四人でいます。しかもその事故者ほとんどが高校生以下の子どもです。さらに、昨年一年間に県下の交通事故で死んだ子どもは三一人であるのに、水難事故で死んだのは八八人で、実にその三倍にも達しています。

子どもと水泳は、切りはなすことのできない夏の遊びであり、訓練でもありません。楽しく安全に水泳させるには、事故がないよう、また事故があつたらすぐ救助活動のできる監視人もぜひ必要です。

監視人も必要

水泳禁止、立入禁止など子どもにもわかる立札などを立ててください。

水泳場で
◆水に入る前に人数をよく確かめ、二人で一組の組をつくって、いつも離れないように指導する。
◆準備体操をさせ、静かに水に入らせる。
◆水泳中は三十分間おきに十分間ぐらい岸にあがらせて休ませる。
◆水泳が終わったら、かならず人数をよく確かめてから解散する。



前もつての準備
◆合図用のふえ、旗など
◆救助用の竹ざお、細ひも
◆事故が起きた場合の連絡方法を考えておく。

◆早く近くの人に知らせて応援を求めろ。
◆警察や消防、学校の先生など、水難救助方法を知っている人に連絡する。
◆おぼれている人の救助はなるべく水に入らずに、タオル、竹ざお、ひもなどを使って助ける。
◆泳いで助けるときは、おぼれている人に抱きつかれないように後から近よる。
◆医者をすぐ呼ぶ。
◆おぼれている人を岸あげたら、すぐ人工呼吸をはじめる。

幼児の事故防止

幼児の事故は、ほとんど親の油断から起きます。最近、川や用水路に落ちて尊い生命をなくする例が多いようです。
平素のしつけと、細心の注意や監視がぜったい必要でしょう。
(阿久根警察署から)



大島渡船時間表

7月1日から8月31日まで

阿久根港発	大島港発
7時50分	7時00分
8. 30	8. 00
9. 00	8. 40
9. 30	9. 10
10. 00	9. 40
10. 30	10. 10
11. 00	10. 40
11. 40	11. 10
12. 30	11. 50
13. 20	12. 40
14. 00	13. 30
15. 00	14. 10
16. 00	15. 10
17. 00	16. 10
18. 00	17. 10
19. 30	18. 10
20. 30	19. 40
7月8月以外 (阿久根港発)	
9時40分	11時40分
13. 30	15. 30

▼石油類の貯蔵は▲
最近、農家に、農耕用機械やたばこ乾燥用燃料として、石油類が貯蔵されるようになってになりました。
そうして、この取扱いの不慣れや設備の不備による火災が、県内で数件発生しています。
消防法では、それぞれ重油二千リットル、灯油軽油(五百リットル)、ガソリン(百リットル)以上を貯蔵するときは消防本部に設置許可申請書を出して、完成検査を受けなければならぬことになっていました。
なお、ドラム管一本は二百リットルです。違反のないようお願いします。
(阿久根市消防本部)

▼子豚のせり市では▲
子豚のせり市で、子豚にお別れのえきを与えられる愛豚家が多いようです。
しかし、このために取引が成立直後、胃が破れたり心臓が破れたりして死亡する場合があります。買われたかたにたいへん迷惑をかけています。
これから、せり市場内では、子豚にぞったいえきを与えないようにしてください。
(阿久根市畜協)

▼牛どろにご用心▲
九州一門に、計画的な牛どろが横行しています。
本県においても、三月以降十一頭の牛がとられ、当市でも四月三日に折口でとられ、六月四日廣田で未遂事件がおきています。
手口は、現場付近にトラックを駐車して運び出すのです。
牛は農家にとっては大切な宝です。車通りのよい道路近くのかたはとくにご注意ください。そしてつぎのことをお守りください。
●かんぬきにたより過ぎないで、口締りをよくする。
●夜回りなど地域ぐるみの共同防犯をはかる。
●おかしい車の駐車など、すぐ警察などに知らせる。
(阿久根警察署)

お知らせ

▼住宅資金の融資▲
住宅金融公庫では、ただいま、本年度第二回個人住宅建設資金貸付けの申し込みを受け付けています。
ご希望のかたは、七月二十日まで、旭銀行阿久根支店か、もよりの農協にお申し込みください。
▼社会を明るく▲
七月は「社会を明るくする運動」月間です。
わたくしたちが毎日住んでいるこの社会を、明るく住みよいものにするため、わたくしたちの周囲から犯罪をなくするように。
また、もし不幸にして罪を犯した人たちがあればそのかたがたが更生について理解を深め、協力してあげましょう。
▼心配ごと相談は▲
市役所内の阿久根市社会福祉協議会には、心配ごと相談所があります。
ここは、みなさまがたの身の上、生活、家庭、法律その他いろいろ心配ごとやなやみごとについて、相談相手になるところです。
そうして、明るく幸せな家庭づくりをお世話していきます。
毎月、第一と第三水曜日には福祉事務所内の社会福祉協議会事務局、第二と第四水曜日は、市役所三笠支所でご相談をお聞かせします。



農繁期の台所は共同炊事で



佐高の汐入グループは久根農協の生活改善係の昭和三十三年以来農繁期協力で、田植え期間の共同炊事を続けています。炊事の手間はがけるグループ長の浜崎かおるさんほか六世帯で、炊事できるし、割安で栄養価の高い食事ができると生活改良普及員さんや阿高さんでいます。

水道の水神祭り

市では、6月17日、水源地で上水道の水神祭を行いました。当市の水源地は、昭和27年に誕生したのですが、現在ではその4倍にも成長しています。



